

BUILDING
RENOVATION
AND NEW
CONSTRUCTION
REPORT
2014-2023



建物整備レポート

2014年～2023年



国立大学法人

愛知教育大学

AICHI UNIVERSITY OF EDUCATION

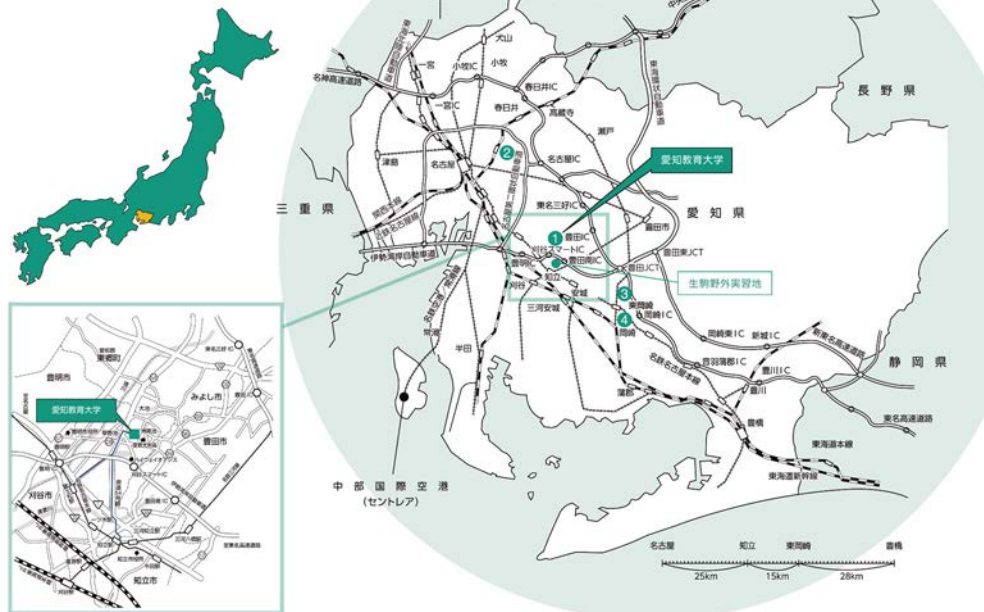
CONTENTS

各キャンパス, 土地・建物の緒元, 大学沿革	・・・	01
キャンパスマップ	・・・	02
井ヶ谷団地全景, 2014年度～2023年度に完成した事業と現在予定の事業	・・・	04
教育未来館	・・・	05
美術第一実習棟, 美術第二実習棟 (現 美術・技術実習棟)	・・・	06
教育交流館	・・・	07
AUEスクエア	・・・	08
附属図書館	・・・	09
AUEセミナーハウス	・・・	10
次世代教育イノベーション棟	・・・	11
教育・人文棟	・・・	12
国際教育棟	・・・	13
自然科学棟・共同演習棟	・・・	14
美術・技術・家政棟	・・・	15
保健体育棟, 養護・幼児棟	・・・	16
(大幸) 附属幼稚園園舎	・・・	17
音楽棟	・・・	18
特別支援教育棟	・・・	19
井ヶ谷団地 ユニバーサルデザイン整備状況	・・・	20



各キャンパス, 土地・建物の緒元, 大学沿革

各キャンパスの所在地・概要



①刈谷キャンパス

愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1



土地	488,136㎡
建物	98,887㎡
構成員	教職員 383人
	学部学生 3,726人
	大学院学生 240人
	専攻科学生 27人
	附属学校生 355人
	計 4,731人

②名古屋キャンパス

愛知県名古屋市中区大幸南1の126



土地	55,228㎡
建物	15,864㎡
構成員	教職員 76人
	附属学校生 1,149人
	計 1,225人

③岡崎(六供)キャンパス

愛知県岡崎市六供町八貫15



土地	64,348㎡
建物	11,730㎡
構成員	教職員 58人
	附属学校生 606人
	計 664人

④岡崎(栗林)キャンパス

愛知県岡崎市明大寺町栗林1



土地	21,397㎡
建物	6,546㎡
構成員	教職員 28人
	附属学校生 434人
	計 462人



キャンパスマップ

本部棟

- 本部棟 Administration Building
- 附属図書館 University Library
- 第一共通棟 (学生サポートセンター) Lecture Building I (Student Service Office)
- 第二共通棟 Lecture Building II
- 講堂 Auditorium
- 大学会館 Lakeside Lounge and Assembly Hall
- 第一福利施設 Student Center and Cafeteria I
- 第二福利施設 Campus Cafeteria II
- 学生寮 Student Dormitories
- 国際交流会館 International House
- 文化系サークル棟 Student Activities Center
- AUEセミナーハウス AUE Seminar House
- 守衛所 Guard's House
- 井ヶ谷荘 Visitor's Dormitory (Igaye-no)
- 健康支援センター Health Service Center
- 教育未来館 Future Educational Hall
- 教育交流館 Educational Communication Building
- 次世代教育イノベーション棟 Educational Innovation Hall
- 国際教育棟 International Education Building
- 体育館附属棟 Gymnasium Equipment Office
- 第一体育館 Gymnasium I
- 第二体育館 Gymnasium II
- 武道場 Martial Arts Gymnasium
- トレーニングセンター棟 Training Center
- 教育実験実習棟 Botanical Laboratory
- 弓道場 Japanese Archery Gymnasium
- 共同演習棟 Communal Seminar Building
- 共同実験実習棟 Communal Laboratory Building
- 心理教育相談棟 Center for Psycho-Education Services

教育科学

- 教育支援棟 I Educational Support Building I
- 教育支援棟 II Educational Support Building II
- 養護・幼児棟 School Health Sciences and Early Childhood Education Building
- 特別支援教育棟 Special Education Building

人文社会科学

- 教育・人文棟 Education and Humanities Building

自然科学

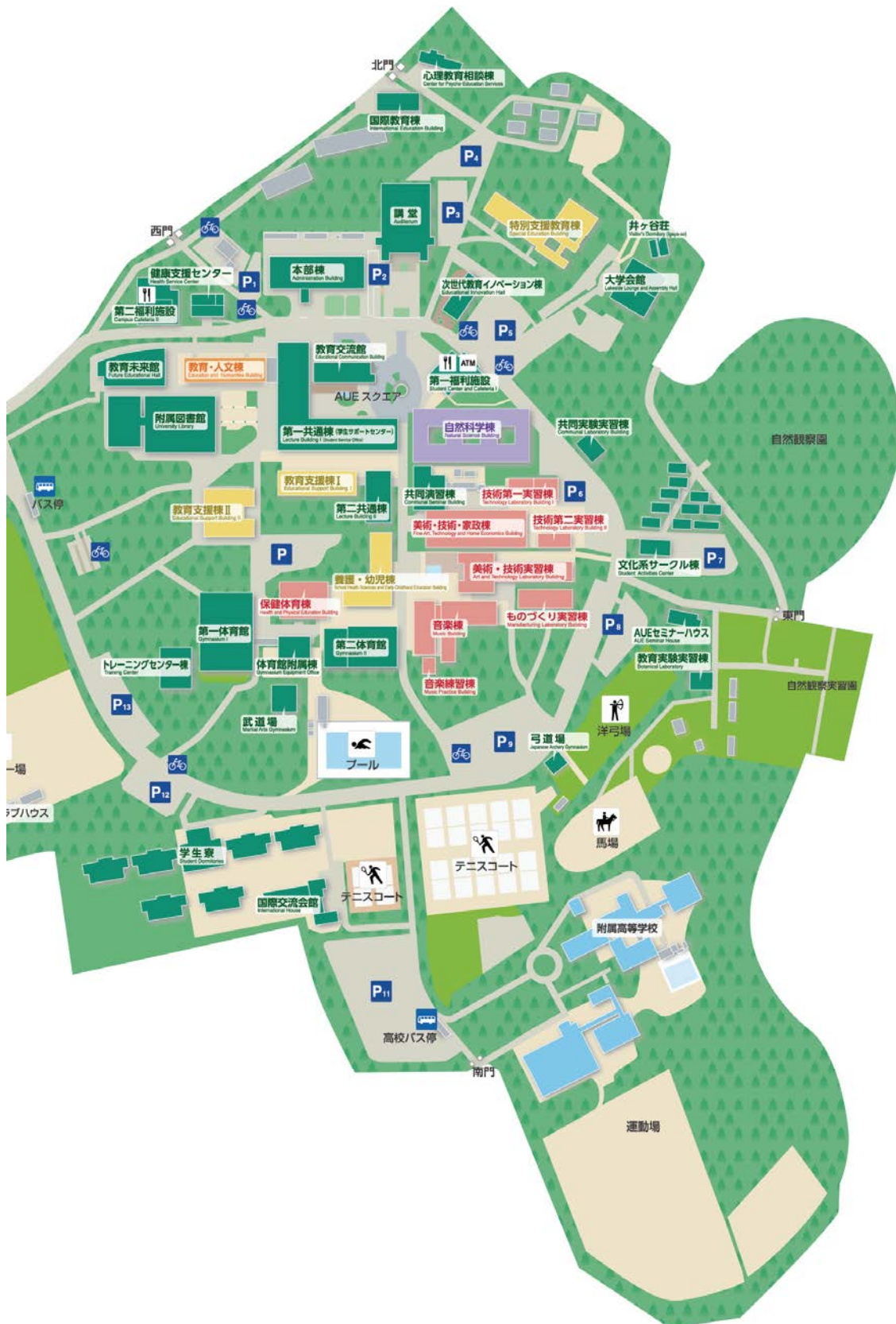
- 自然科学棟 Natural Science Building

創造科学

- 美術・技術・家政棟 Fine Art, Technology and Home Economics Building
- 音楽棟 Music Building
- 保健体育棟 Health and Physical Education Building
- 美術・技術実習棟 Art and Technology Laboratory Building
- ものづくり実習棟 Manufacturing Laboratory Building
- 技術第一実習棟 Technology Laboratory Building I
- 技術第二実習棟 Technology Laboratory Building II
- 音楽練習棟 Music Practice Building

附属高等学校





井ヶ谷団地全景，2014年度～2023年度に完成した事業と現在予定の事業



2014年度～2023年度
主な施設整備一覧と実施予定事業

年度	整備建物
2014	①教育未来館 ②美術・技術実習棟
2015	③教育交流館・AUEスクエア
2017	④附属図書館
2018	⑤AUEセミナーハウス
2019	⑥教育・人文棟 ⑦次世代教育イノベーション棟 ⑧国際教育棟
2021	⑨自然科学棟，共同演習棟 ⑩美術・技術・家政棟 ⑪保健体育棟 ⑫養護・幼児棟 ・(大幸)附属幼稚園園舎
2022	⑬音楽棟
2023	⑭特別支援教育棟
2025～ (予定)	⑮教育支援棟Ⅰ，第二共通棟 ⑯大学会館 ⑰体育施設(第一，第二体育館他)
整備済	⑱第一共通棟 (2005年度) ⑲武道場 (2013年度) ⑳学生寮 (2011～2015年度)



■ : 新築
 ■ : 全面改修
 ■ : 改修予定
 ■ : 整備済

教育未来館

2014

新築 改築 全面
改修
創造 非構造 屋外
PS

構造：鉄筋コンクリート造3階建
延床面積：3,054.98㎡

本学大学院は、修士課程とともに教職大学院及び共同教科開発学専攻（博士課程）が設置されており、スペースは間借りしていて不便な状態だったが、本建物の完成によりスペースが集約化され運用が効率よくなる。

また、学内スペースの再配置も可能となり、本学の教育環境が一層充実したものとなる。

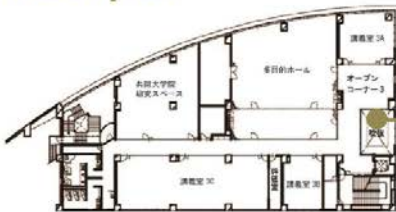
本建物は正門の正面、小高いキャンパスへ向かうメインアプローチに沿って位置している。学内に訪れる人をやさらかに導くように北面のメイン道路に沿って大きな弧を描くガラスのファサードとし、このガラス曲面が自然と調和しながら緩やかに伸びていく姿がキャンパスの新しいランドマークとなった。



建物外観

Floor plan

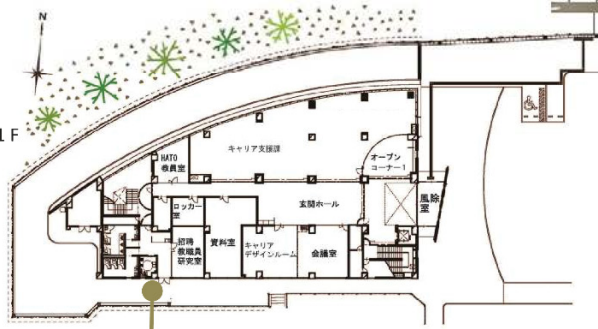
3F



2F



1F



外部から吹抜上部へ抜ける自然な空気の流れを活かした自然換気システムの導入

Top Light



吹抜

Active learning



ホール

2階ホールは学生・教員のコミュニケーションアクティブラーニングの場。各所にホワイトボードやカウンターを配置し能動的な学習を誘発する。

Sustainable Design



エアダクト

土中・地下ピットに設けたエアダクトによる熱負荷低減

美術第一実習棟, 美術第二実習棟 (現 美術・技術実習棟)

2014

新築 改修 全面改修

耐震 非構造 屋外PS

構造: 鉄筋コンクリート造2階建 (第一・第二とも)
 延床面積:
 美術第一実習棟 1,113.16㎡
 美術第二実習棟 1,000㎡

美術第一実習棟は昭和45年に、美術第二実習棟は昭和55年に建設されて以来、本質的な改修を実施していないため、耐震補強及び建物内外部の機能向上を兼ねた改修を実施した。機能面の向上だけでなく、デザイン面でも【美術館】をイメージしたシンボリックな建物とした。

外部空間においては、ウッドデッキやシェードネットの設置や鑑賞池の改修で学生同士のコミュニケーションを促す工夫をし、屋外美術作品の展示場や野外音楽演奏のステージ等、まわりの建物(音楽棟、美術実習棟など)の特性を活かした整備としている。



Top Light

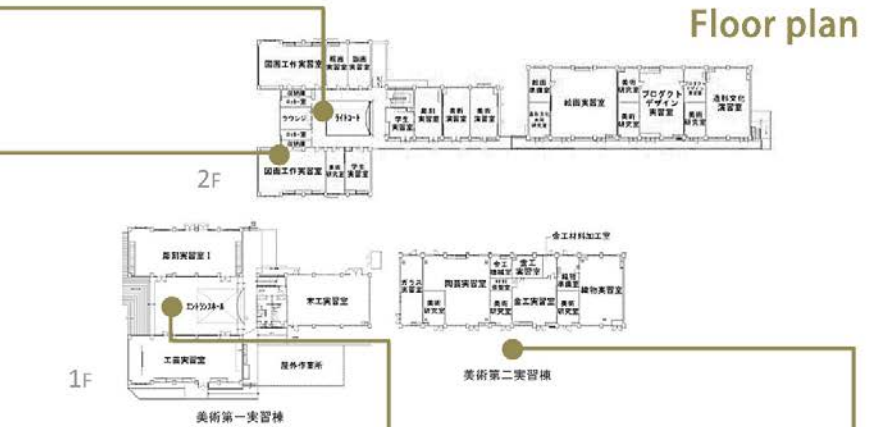


トッブライトからの自然採光を考慮した色合い

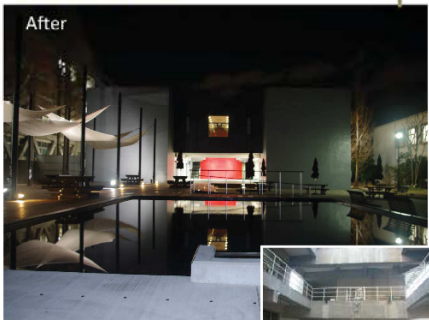
Lecture Rooms



「木の質感」を存分に活かした学習環境



Entrance Hall



局面状の意匠壁がアイキャッチとなるエントランス

Exterior



教育交流館

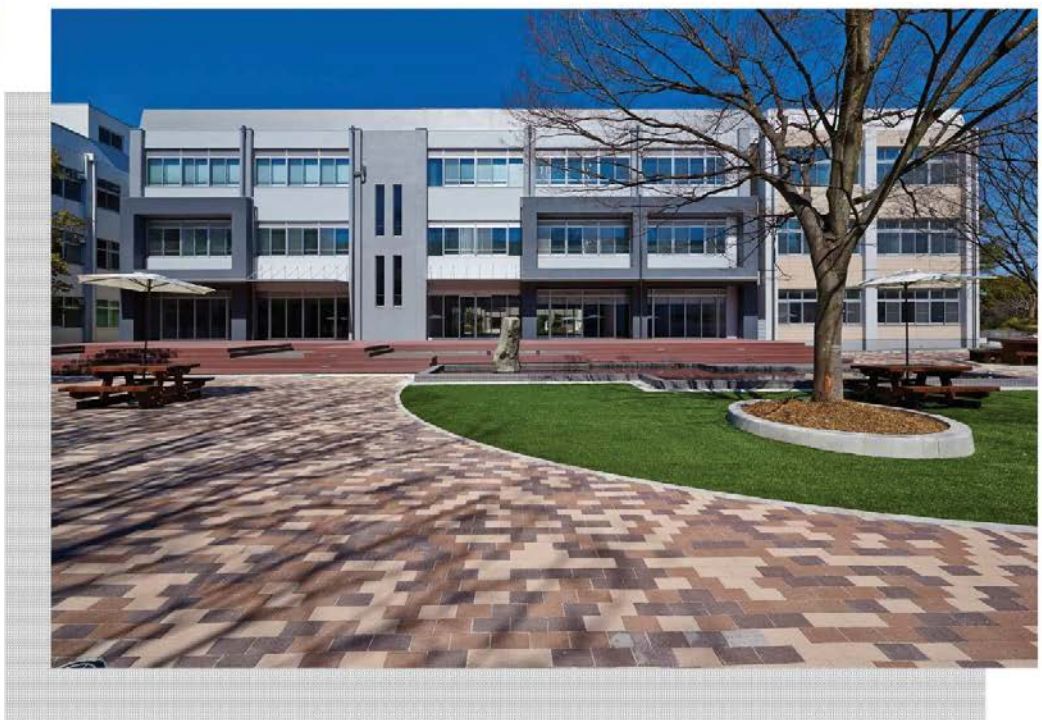
2015

新築 改修 全面改修

耐震 非構造 屋外PS

構造:鉄筋コンクリート造3階建
改修面積:1,798.20㎡

耐震改修と併せて、学生・教職員の「交流エリア」として建物の内外を活かすことを目的に整備した。1階を自由に往来できる通路(バサージュ)整備をすることで、人の流れを集め交流を活性化させた。また、1階を学生の自立的・自発的な学習を促すためのラーニング commons のスペースとしており、多様な学習環境の確保も実現している。



Passage



南北を繋ぐバサージュを新しく整備し、屋外パブリックスペースの活性化を図った。

Learning Commons



自立的・自発的な学修を促すラーニング commons を整備。

Floor plan



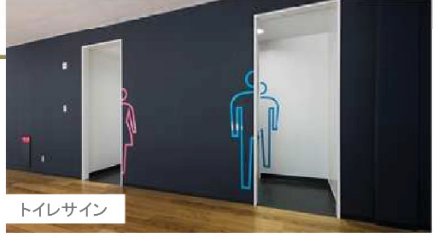
Sustainable Design



太陽光発電により、自然エネルギーを活用し CO₂ 削減に貢献する。10KWの太陽光発電を設置。



高効率空調機を採用した。また、空調デマンド制御を取り入れ省エネと快適性の両立を図った。



ユニバーサルデザインに配慮しつつ、トイレの正面に立つと前後の壁にデザインされているサインが重なるように見せ方を工夫した。

AUEスクエア

2015

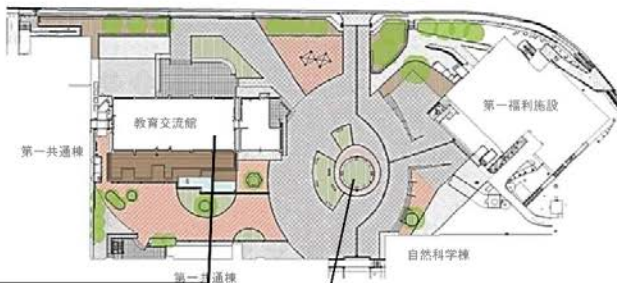
- 新設
- 改築
- 全面改修
- 附属
- 非構造
- 屋外PS

2015年3月完成
改修面積: 6,800㎡

本学の中核施設群(教育交流館・第一福利施設・第一共通棟・自然科学棟・講堂)の囲まれた本パブリックスペースの整備計画範囲は約6,800㎡となる。
「センターコア」を中心とした同心円状に広がるデザインとすることで、人と人、大学と地域を繋ぐ輪としての求心力を具現化し、周辺建物利用者である学生・教職員だけでなく地域の人を含む交流を繋ぐ輪となるようシンボル性を持たせている。



Overhead view



凡例

- インターロッキング(広場)
- インターロッキング(通路)
- ウッドデッキ
- 人工芝



ツリーテーブル
既存の高木を囲むようにテーブルとベンチを設けることで、自然との調和を図りつつ、集いの場を創る。



周辺建物との連動・活用
大学中央に位置するパブリックスペースとして周辺建物との連動や、学内行事でのステージやイベント会場としても活用が見込まれる。

Before



After



附属図書館

2017

新築 改築 全面改修

耐震 非構造 屋外PS

2017年8月 完成
改修面積: 3,853㎡

教育大学として高機能が求められる図書館には、グループスタディcommonsとプレゼンテーションcommonsを併設した。学生たちの交流や活動を促し、情報・書籍・教科書を用いて、学生達が自ら目的にあった学修ができる機能を携えた。

緑豊かな教育の森に佇む森の図書館をイメージし、在学生、地域の方々、大学を志す高校生の憩いの場として設定した。

館内にはイベントスペースを設け、「アイ♡スペース」という愛称が名付けられている。



静
エリア



3階フロアは「静エリア」として開架書架を集約し、サイレントルーム、研究室、自習エリアにおいて、静かな環境での読書や学習・研究が可能。



1階は書庫となっており、古い教科書や地図が貯蔵されています。

Floor plan



動
エリア

2階フロアは「動エリア」としてグループ学修エリア、模擬授業ルーム等を設置し、学生たちの自由で実践的な学びを支援する。



キッズライブラリーを設置し、絵本の読み聞かせが可能。

Before



After



AUEセミナーハウス

2018

新築 改築 全面
改修
耐震 木構造 断外
断熱

2018年5月 完成
延床面積：203㎡

本施設は、1、2階に連続した3つのセミナー室を可動パーティションで区切り、利用する団体のボリュームに応じてスペースを変えることが可能である。

また、1、2階ともキッチン、洗面、シャワー室を有し、各セミナー室とキッチンを含めた一体の開放空間としても利用することが可能。

学生が活発に活動し、本学での学びを深めるための施設として、学生交流が深まることへの期待が込められる。



2階セミナー室



2階セミナー室 開放時

2階セミナー室5

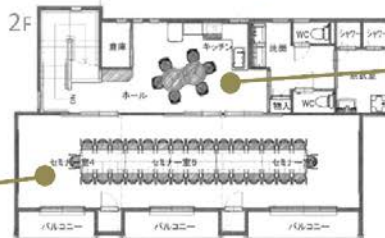
連続した3つのセミナー室は可動パーティションで区切られ、利用する団体のボリュームに応じてスペースを変えることが可能。



エントランス

湿度を調整する機能を持つ壁

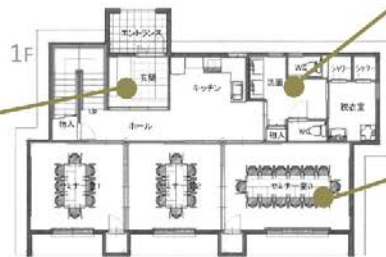
Floor plan



2階キッチンスペース



1階洗面台

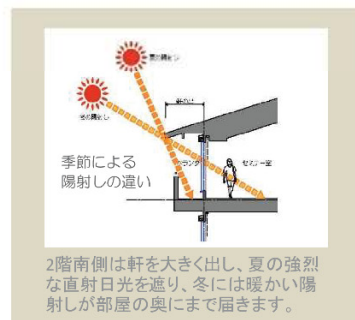


1階セミナー室 開放時

Before



After



次世代教育イノベーション棟

2019

新築 改築 全面改修
 配管 天井造 屋外PS

2019年4月 完成
 延床面積:462㎡

老朽化してほとんど使用されていなかったボイラー室の内外部改修を行い、次世代教育イノベーション棟へコンバージョンすることで、不足している教育・研究スペースを創造した。

「アクティブ・ラーニング」や「小ホール」など使用目的に合わせて、多目的に活用できる施設とした。

外壁は部分的にカラーパネルとすることにより、建物全体にアクセントを加えてシャープな美観を創り出している。



ホール(大空間利用時)



ホールは様々な使用形態に対応できるように可動間仕切を設置し、1室、2室、3室利用を可能にし、学び方に柔軟に対応できる空間とした。大空間として利用する際は、天井面のロールスクリーンを開閉し、使用形態に併せて室の雰囲気を変えていく。スライディングウォールでホールを2室～3室に小部屋割にして利用することができる。

既存樹木と既存レベルを利用したステージ状のデッキテラスは軽運動ができるスペースを確保し、様々な使い方ができるように配慮した。



外観



エントランス



地域連携リフレント室1

Before



After



教育・人文棟

2019

新窓 改築 全面改修

耐震 正構造 屋外PS

2019年5月 完成
 延床面積: 4,765㎡

今後の改修のモデルケースとなるよう個性を持ちつつも周りと調和するような落ち着いた空間デザインとしている。建物中央にはラーニングcommonsと図書館前広場と北側外部空間をつなげるパサージュを設けることで建物周辺一帯の空間の価値を向上させている。

交流空間にはホワイトボード壁を設置し、議論や勉強の場としての使用を想定し、新たな考えや価値の創造を促している。

複層ガラス、LED照明、インターロッキングの使用により建物の省エネルギー化を図っている。



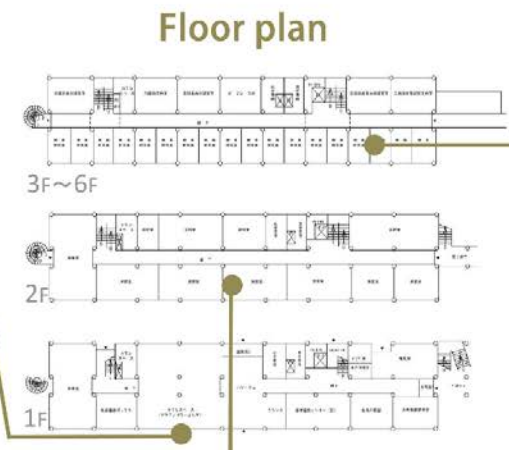
1F

エントランス

パサージュ

コモンスペース

ラーニングcommonsと図書館前広場と北側外部空間をつなげるパサージュで建物周辺一帯の空間の価値を高める。



**3F
6F**

研究室

研究室

COLOR DESIGN

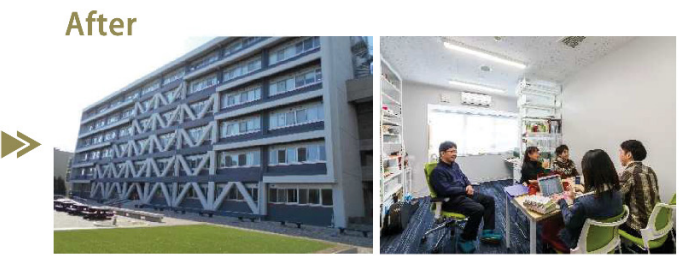
外観は灰色を基調と、要所にアクセントカラーを散りばめて個性を持ちつつ周囲と調和するデザインとした。

2F

2階演習室

コモンスペース

3~6階は研究室と院生室で構成され、各部屋の個性が溢れている。



国際教育棟

2020

新築 改装 全面改修

耐震 非構造 屋外PS

2020年3月完成
延床面積: 1,425㎡

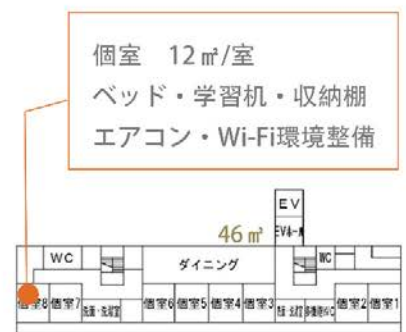
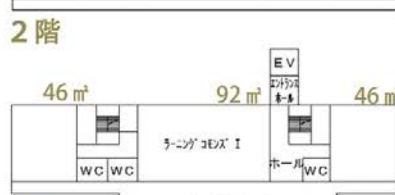
本施設は、職員宿舎を耐震改修と併せて、1階から3階を外国人のための日本語教育支援センター、4階と5階を留学生と日本人学生の混住型留学生宿舎へ用途変更し再生する「コンバージョン」により、多文化体験の場や留学生、外国人のための日本教育の場として活用した。

日本語教育支援センターでは、和室や和ダイニングを設け外国人に日本文化を体験する環境を整備、混住型留学生宿舎では、シェアハウス型とし学修や交流しやすい環境を整備している。

また、1階のラーニングcommons I は、オープンデッキと一体に活用できるため、外国人や地域の方が親子で遊びながら学修できる子育て支援スペースとしても活用することができる。



Floor plan



個室 12㎡/室
ベッド・学習机・収納棚
エアコン・Wi-Fi環境整備



木目を基調にした和みと交流しやすい内装とインテリア

Before



After



自然科学棟，共同演習棟

2021

新築 改修 全面改修

耐震 非構造 屋外PS

2021年6月完成
延床面積：11,160㎡

本施設は、大学内で最も規模の大きい建物で、AUJESクエアに面した本学を印象づける建物の一つであり、隣接している演習棟を含めて全面改修を実施した。

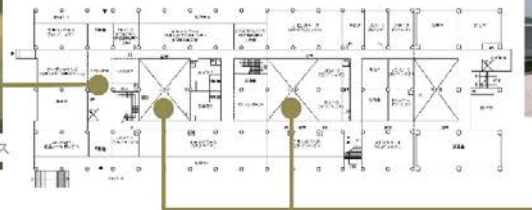
本施設の1階では、AUJESクエアを中心として周辺建物（第一福利施設、第一共通棟、教育交流館）との一体的利用を促し、共通スペースを多く確保している。教員だけでなく学生同士も共同利用できるラーニングcommonsに加え、スペースチャージの対象とした共同実験実習室、地域の子もたちが科学を身近に感じるイベント「科学・ものづくりフェスタ」での地域貢献活動の場として活用するcommonsスペースを整備した。

また、2階から5階では、モジュール化した教員研究室に加え、実験実習の変化に柔軟に対応できる実験実習室や教員同士や学生が、議論や交流スペースを適所に配置し、新たな考えや価値の創造を促している。

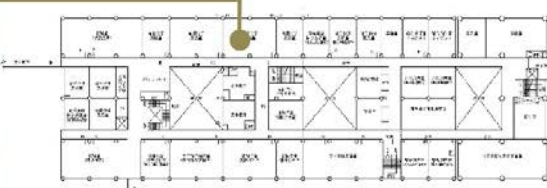


狭く、暗かったエントランスは中庭（オープンテラス）からの採光を取り入れ、明るく開放的な空間としている。

Floor plan



建物に開かれた中庭（オープンテラス）はウッドデッキを敷きだれものが利用したくなるよう、ベンチや人工芝を整備している。



COLOR DESIGN

愛知教育大学のロゴマークに使用されている青色と、アクセントカラーに黄色を使用した。灰色を基調とし周囲と調和し、統一感が出るようデザインした。

OTHER



Before



After



美術・技術・家政棟

2021

- 新築
- 改築
- 全面改修
- 耐震
- 非構造
- 屋外PS

2022年1月完成
延床面積：4,286㎡

築後約50年と老朽化が経過した本建物を全面的にリノベーションし、本学の美術教育、技術教育、家政教育の専門教育にかかる実習室の高度化を行った。実習室は集約を図り共同利用スペースを確保、現教員数に合わせた「教員研究室」並びに「専門領域実習室」、スペースチャージ等に活用する「プロジェクトスペース」を整備。学生の学修環境の充実を図るため、各階に「ラーニングcommons」と1階に企画展など多目的に活用できる「地域貢献ギャラリー」を整備した。

隣接する美術・技術実習棟との関連性を深め、ウッドデッキにて屋外で一体的に接続した。



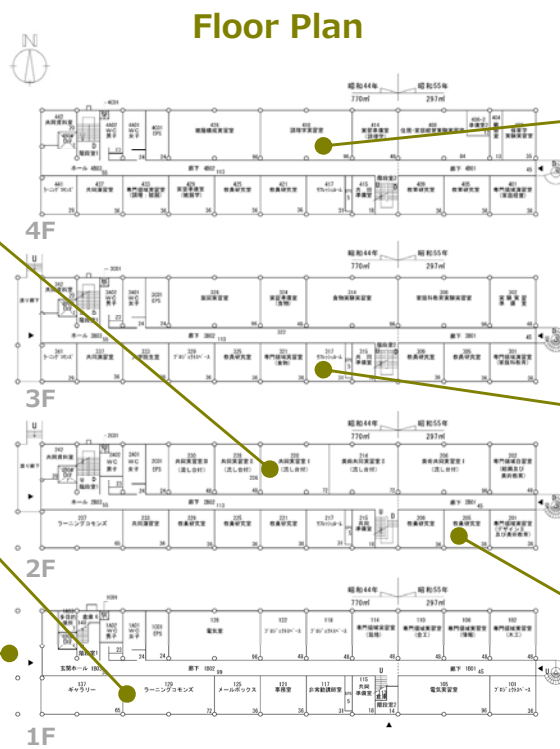
実験実習室

実習室は、換気対策を優先し、換気がしやすい連装の引違い戸を採用。網目の細かいステンレス製の網戸を採用し、害虫対策など衛生面にも配慮。



ラーニングcommons
(地域貢献ギャラリー)

本建物は隣接する共同演習棟と比べ奥まっており、改修前のエントランスは薄暗いイメージであった。改修後は正面が分かりやすいデザインとし、木々の多い本学を象徴するアースカラーを多く使用して、アクセントカラーを緑とすることで周辺環境との調和を図った。



調理実習室

ゆとりのあるレイアウトとなる調理室と調理準備室をバスルーフ冷蔵庫で一体化し、作業動線の効率化、調理物を廊下を通さずに移動することで、「食」の安全性を最優先した。



リフレッシュルーム



教員研究室

Before



After



保健体育棟, 養護・幼児棟

2021

- 新築
- 改築
- 全面改修
- 耐震
- 非構造
- 屋外PS

2022年3月完成
 延床面積：1,176㎡（保健体育棟）
 2,248㎡（養護・幼児棟）

築後約50年と老朽化が経過した中小規模の建物群(保健体育棟, 養護・幼児棟(旧養護教育1・2号棟))を全面的にリノベーションし, 本学の養護教育, 幼児教育, 保健体育教育の専門教育にかかる実習室の高度化を行った。実習室は集約を図り共同利用スペースを確保, 現教員数に合わせた「教員研究室」並びに「専門領域実習室」, スペースチャージ等に活用する「プロジェクトスペース」を整備した。

養護・幼児棟は木製ルーバーのシェードを建物間に整備, 建物の関連性を深めて一体的な接続とした。



保健体育棟

養護・幼児棟

Floor Plan

3F

- 廊下突き当りの講義室は、多くの学生を収容でき自由度が高い
- 居室間仕切りはガラスとし、共用部からの視認性を確保して解放感を出している
- 共同講習室

2F

- リフレッシュスペース
- 共用部
- シェード

1F

- 教員研究室
- 多目的スタジオ
- 共同教材開発室
- 専門実習室

これまでの別棟を一体として使用することから、木製のルーバーで設えられ、来訪する人を受け入れるデザインとした共通のエントランス

保健室を模した空間を作ることができる養護活動実習室・学校保健実習室

講義を主に、運動のエクササイズも行えるスタジオ仕様とした多目的スタジオ

Before



After



(大幸) 附属幼稚園園舎

2021

新営 改築 全面改修
耐震 非構造 屋外PS

2022年3月完成
延床面積：559㎡（北棟）
323㎡（南棟）
156㎡（西棟）

本学附属幼稚園は大正14年創設以来、幼児教育の実践研究を行い愛知県の幼児教育関係者に向け情報発信しつつ、「地域のモデル園」として公開保育や研究協議会等を積極的に開催してきた。建物は経年44年と老朽化が進み、改訂版「幼稚園教育要領」や「幼稚園施設整備指針」に対応した地域のモデル園としての役割を果たすため、全体的にリノベーションを図るとともに西棟を増築し、教育研究環境を大幅に改善した。

また屋外は建物群を一体的に運用し屋外での園児の活動をサポートするための大屋根を新設し、イメージアップも図った。



layout Plan



園舎（西棟）

狭隘であった既存棟の改修に合わせて園舎（西棟）を新築し、園児や教員の日常環境を改善。また密の回避にも貢献できて衛生環境も向上した。



多目的室



保健室

狭隘で既存棟を共用しながら使用していた多目的室(会議、研究用)や保健室を常設。



遊戯室

既存棟の遊戯室は空間の広さを活かしてリノベーション。補助暖房で温水式ヒーターパネルを設置して、柔らかい暖かさを園児に提供できるようにした。



保育室

既存棟の保育室（6部屋）は空間の広さを活かしつつ園児の日常的环境を大幅に改善。木材を多用して木の温もりを提供し、天井面の照明配置を工夫して園児の気付きや思想の多様性を促した。

Before



After



音楽棟

2022

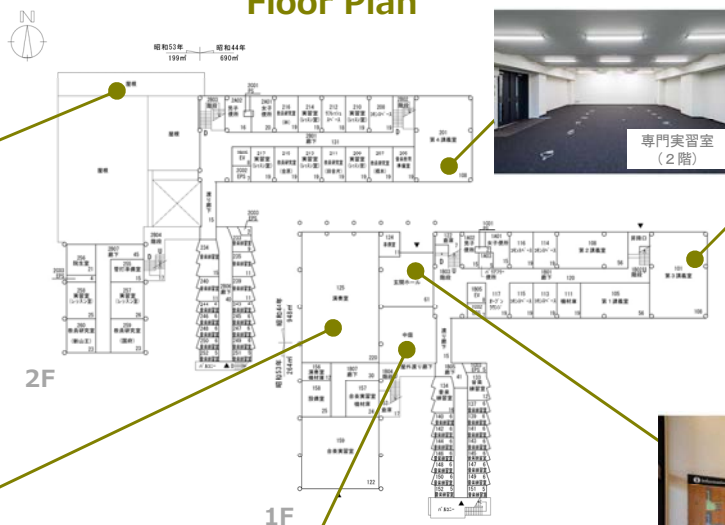
- 新築
- 改築
- 全面改修
- 耐震
- 非構造
- 屋外PS

2023年3月完成
延床面積：2,101㎡

築後約50年と老朽化が経過した本建物を全面的にリノベーションし、本学の音楽教育にかかる実習の高度化を図った。1階の実習室は集約化し共同利用スペースを建物中央に確保、演奏室はコンサートホールを模してこの建物の象徴となり、内装の木質化により温もりが感じられる音響空間となった。建物玄関（エントランスラウンジ）の天井はヴォールトとして西洋建築物を模することで高貴な芸術性を醸し、音楽への探求を誘っている。中庭はエントランスラウンジと一体的空間とし、建具を全面開放して屋外演奏会が実施できる。2階の教員研究室と実習室（レッスン室）は交互に配置することで実習の効果を最大化できるようにした。



Floor Plan



正面玄関

正面玄関の底裏の赤色は創造科学系のテーマカラーであり、音楽における「情熱」や「叙情」を連想させている。また壁面は古代音楽譜を模したタイル調で、既存壁面を保存した。



専門実習室 (2階)



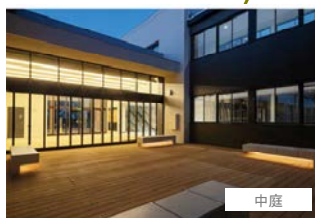
専門実習室 (1階)

フロア計画は、1階を木調として柔らかなイメージに包まれる空間、2階をモノクロ調として現代的かつ集中を得られる空間としている。



演奏室

内装の木質化と間接照明の計画により、木の温もりが感じられるあたたかな空間になった。舞台照明及び一般照明を改修し、演奏室利用と教室利用のどちらも行える設えとなっている。内装は天井・壁の傾斜により反響を調整することで演奏室として必要な音響性能を確保した。



中庭

外部と合わせたデッキが玄関ホールから中庭へと続き、建具を全開放することで、外と中での連続性をつくっている。中庭には、柔らかな光を放つベンチを設け、開放感のある生徒の憩いの場として活用できる。



ホール

ふわふわとリズムを刻むような天井は、柔らかな間接照明をおとし、玄関ホールを包み込む。玄関ホールから各諸室へはスロープを設け、バリアフリーに配慮。エレベーターを新設し、上下階の移動も円滑に行えるようになった。

Before



After



特別支援教育棟

2023

- 新築
- 改築
- 全面改修
- 耐震
- 非構造
- 屋外PS

2024年2月完成
延床面積：1,919㎡

築後約50年と老朽化が経過した本建物を全面的にリノベーションし、本学の特別支援教育にかかる実習の高度化及び発達支援相談の環境改善を図った。本建物として求められる大前提のバリアフリー化を大幅に実現。各所に点在し機能強化の妨げとなっていた実習室、研究室は各々集約化し、改修整備により教育研究環境を大幅に改善。1階にはガラスを多用したアクティブラーニングスペースを新設して学生の自発的な学修と憩いのスペースを創出した。ここからは屋外に通じる動線を整備し、屋外には人工芝とウッドデッキによるパブリックスペースを創出した。発達支援相談に係るスペース(ブレイルーム)は空調を整備し環境を改善。また中庭にあったプールは人工芝化と水場も用意して全気候に対応、カウンセリングの子ども達が安全に活動できる空間を実現した。



Floor Plan

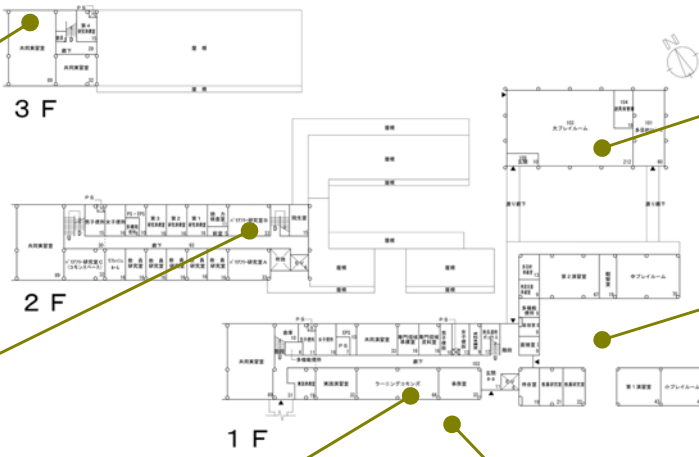


1階のみであった大人数を収納できる実習室を各階に整備。壁面はホワイトボードペイントを施し、多種多様な学習の在り方に対応できる設えとした。



研究室のうち3室を「バリアフリー研究室」として整備。視覚等にハンディキャップを持つ教員が制約なく研究できる環境を整備した。

アクティブラーニングスペースはスペースの再配置により整備を実現。建物ユーザーから要望のあった学生の自発的学習を促すスペースを確保できた。



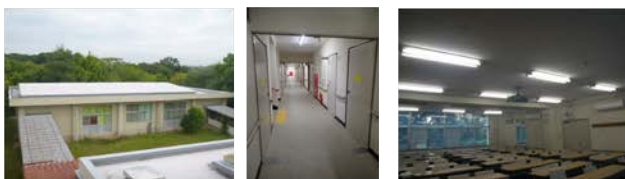
ブレイルームは大空間そのままに空調を整備し、教育や発達支援相談に係る環境を大幅に改善。



中庭のプールは人工芝化し水場も整備。発達支援相談等で訪れた子ども達が安全に活動できる空間とした。

アクティブラーニングスペースから通じる屋外環境(テラス)を整備。ウッドデッキや人工芝で建物外に立ち入れるスペースを創出し、本建物には無かった解放感のある憩いの場を創出した。

Before



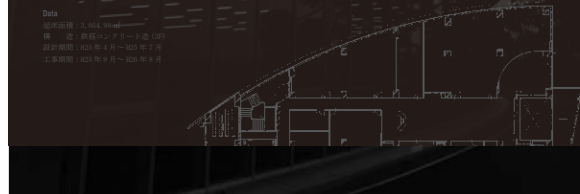
After



井ヶ谷団地 ユニバーサルデザイン整備状況



BUILDING RENOVATION AND NEW CONSTRUCTION REPORT 2014-2023



BUILDING RENOVATION AND NEW CONSTRUCTION REPORT 2014-2023

2024年4月発行 企画・編集：施設課

完成建物の紹介

<https://www.aichi-edu.ac.jp/intro/facilities/tatemono.html>



国立大学法人

愛知教育大学

Aichi University of Education

〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢 1

<http://www.aichi-edu.ac.jp>

TEL: 0566-26-2153